

バイオビジネス環境学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 泉田 洋一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

バイオビジネス環境学特論演習Ⅰの学習・教育目標は、演習Ⅰに引き続き、農業・農村開発における経済活動と環境の関係を、関連文献を読みながら修得することにある。農業や農村の経済開発を進めるにあたって、環境の視点から如何に持続可能な仕組みを作り上げるかを議論したい。環境の劣化をもたらす要因、農業水利管理の改善、資源管理の主体とインセンティブ、緑の革命等の新技術の持つ環境問題、条件不利地域の環境をどう高めるか、環境サービスへの支払い問題、環境政策等を議論する。またできれば地球温暖化と開発問題にまで言及したい。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業・農村開発 持続可能性 資源管理 水利管理
畜産の環境問題 地球温暖化 住民参加型資源管理 環境管理と資金問題

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	世界銀行「世界開発報告 2008 年」と「世界開発報告 2010 年」を素材に農業・農村開発における環境問題を議論していくことになる。順番等は未定であるが、はじめに世界開発報告 2008 年の第 8 章を精読し、さらにそこにでてくる論文を選んで読んでいくことから始める。ここがクリアできれば、2010 年の報告書を読破することに移る。	演習の内容は、農業・農村開発における経済活動と環境の関係を、関連文献を読みながら修得することにある。 とりあげる論文は有名な英語論文となる。論文を読みながら、農業や農村の経済開発を進めるにあたって、環境の視点から如何に持続可能な仕組みを作り上げるかを議論する。 環境の劣化をもたらす要因、農業水利や農用地管理問題、資源管理の主体とインセンティブ、緑の革命等の新技術の持つ環境問題、畜産の環境問題、条件不利地域の環境をどう高めるか、環境サービスへの支払い問題、環境政策等を議論する。	環境経済学の基本を理解していることが望ましい。またバイオビジネスにとっての環境的持続可能性が、具体的にどういった現実問題として発現しているかについて、自分なりにまとめておき、問題意識を醸成していることが望ましい。あとは英文の論文を読みこなす意志が必要。各回、予習・復習それぞれ 1.5 時間程度。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

1. World Bank/World Development Report 2008 "Agriculture for Development" Ch. 8
2. World Bank/World Development Report 2010 "Development and Climate Change"

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

上述の資料に出てくる文献

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート (50%) 試験 (50%)

◆オフィスアワー

火曜 5 限・研究室

◆その他受講上の注意事項

受講生の関心、必要度に応じて内容の変更もあり得る。